

2017年(平成29年)11月15日発行

Hacsw

会員便り 第67号

公益社団法人 広島県社会福祉士会 広報委員会 編集

732-0816 広島市南区比治山本町 12-2 広島県社会福祉会館内 TEL: 082-254-3019 FAX: 082-254-3018

～「回復は可能」というメッセージを込めて～

リカバリーパレード「回復の祭典」in ヒロシマへの参加報告

9月23日秋分の日、毎年恒例のリカバリーパレード「回復の祭典」in ヒロシマに参加してきました。

広島での開催は今年で6年目を迎えるリカバリーパレードですが、私も初めての参加でした。ご存じない方もおられるかと思うので、簡単にご紹介をいたします。

リカバリーパレードは、アルコールや薬物の依存症者、心の病を抱える人たちが回復を祝うイベントで、9月から11月にかけて全国各地で開かれます。このパレードでいわれている「回復」というのは、必ずしも完治ではなく、「本人が以前よりよかった自分を喜べること」とされています。参加者たちが「回復は可能」とのメッセージを、パレードを通して依存症で悩んでいる方、そして社会へとアピールをする機会なのです。依存症をはじめとする心の病や生きづらさを抱える当事者・家族・友人・支援者・賛同者が、おそろいの青空色のTシャツを着用し、パレードを展開し、回復の喜びをアピールしています。

当日は心配していた天候にも恵まれ、パレードにはもってこいの薄曇りでした。主催者の発表によりますと237名の方が参加されたそうです。

集合場所のハノーバー庭園というのがよくわからなかったのですが、広島市民球場跡地の裏と聞いていたのでそのあたりに行ってみるとすぐにわかりました。青いTシャツの集団がたくさん！。当事者や家族、支援者団体等、様々な方々

障害児者支援委員会 委員長 駄賀 健治

が参加されていました。早速私も青いTシャツに着替えると、初めてお会いする方ばかりですが妙に一体感を感じます。

主催者挨拶の後、コールの掛け声の練習をし、ハノーバー庭園を出発。

相生通りを通過して紙屋町から八丁堀、金座街、本通り商店街を抜け、ハノーバー庭園に戻りました。われらが社会福祉士会はパレード最後尾を務め、山中会長の掛け声のもと、スローガンをコールして広島市中心部をパレードいたしました。



- こころの病から元気になりました！
- 依存症から回復しました！
- 支えてくれてありがとう！
- こころの病について理解を深めよう！
- 回復を信じ、応援する社会を作ろう！

街中は、カープのリーグ優勝に沸き、赤一色でしたが、その中を青い集団がパレードする姿は爽快でもありました。このパレードが、依存症、心の病に対する社会の無理解・偏見・差別を取り除き、さらに回復しやすい社会を作っていく一歩になれば良いと思います。

チョット注目！！ リカバリーパレードは、昨年からフラワーフェスティバルの「折りづるみこし連」にも参加しています。興味のある方、来年は是非ご参加ください。



11月号 リカバリーパレード「回復の祭典」in ヒロシマへの参加報告 / 「くつろぎ入浴サービス」ホームレス支援委員会 / 研修報告「子どもの笑顔を奪う貧困」子ども・家庭支援委員会 / 研修報告「高齢者虐待対応研修」地域包括ケア推進委員会 / 北支部活動報告 / 広島県地域生活定着支援センター NEWS / 社会福祉士会事務局 新人紹介 / 会員紹介リー / 研修・イベント情報 / 公益社団法人広島社会福祉士会への寄付金について / 編集後記

～くつろぎ入浴サービス～

ホームレス支援委員会 委員長 江口 洋子

くつろぎ入浴サービスは、路上生活者の方々から「お風呂に入りたい」という希望が多かったことから、2004年に活動が始まり、今年で13年目になりました。

当初から、この活動をしている委員の米澤恭子さんから、この活動の目的は「路上生活者が、お風呂に入って清潔になり、尊厳と自信を取り戻し、社会参加が出来るようになること。そして、たとえひと時でも畳の上でくつろいで、路上生活での緊張を、ほぐしてもらうこと」と教えられました。

入浴は、月4回（第1・2は金曜日、第3・4は土曜日、午後1時から）実施を予定し、一日4名受け付けます。予約制で、夜回りの時やカレーライス大会（民間で行っている炊き出し）の時に、入浴を希望される方々に予約して頂きますが、毎月利用を希望される方は翌月の予約を取って帰られることが多くなっています。入浴前に、健康チェック（検温、血圧測定等）をしながら、体調の変化や気になることなどをお聞きします。入浴後は新しい肌着に着替え、昼食を召し上がって頂きます。食事中や食後は、くつろいだひと時を過ごして頂けるよう、お手伝いの委員やボランティアも、テーブルのそばに座って、一緒に会話をして過ごします。この和やかな時間を積み重ねていくうちに、自ら、生活課題の解決の意思を持たれ、

委員がお手伝いできること（生活保護申請、医療機関診療支援等）に繋がっていきます。支援をさせて頂くまでに数年の月日を必要とする方もおられますが、やはり、支援につながり路上を脱却されると、委員会のメンバーの他に、この活動を支援して下さっている様々なボランティアの方々（介護福祉士、看護師、一般市民、大学生、支援される側から支援者へ回った人）のおかげだと、感謝の気持ちでいっぱいになります。

くつろぎ入浴サービスで、私は、利用者の価値観を尊重する（審判しない、受容する）ということを学ばせて頂きました。



研修報告 「子どもの笑顔を奪う貧困」

子ども家庭支援委員会 委員長 田中 聡子

NPO法人など14の団体でつくる「“こどもの笑顔と安心、安全な地域づくり！”ネットワーク」主催により、9月10日にシンポジウム「こどもの笑顔を奪う貧困」が広島市中区の県民文化センターで開催されました。当日のプログラムは、まずネットワークを構成する14団体の活動の報告があり、本会からは子ども家庭支援委員会が活動を報告しました。その後基調講演「こどもの貧困～要因と対策を考える～」(県立広島大学 田中聡子)、NPO法人「食べて語ろう会」(中本忠子理事長)の活動報告がありました。

「子どもの貧困」に対する社会の関心の高さもあり、フロアから質問も寄せられ、活発な質疑応答がありました。身近なところから考えること、できるところから始めてみるのが大切なんだという声を参加者のアンケートからいただきました。

子どもの貧困は子ども自身に責任はなく、また子どもの育つ家庭の責任でもありません。大事なことは、様々な要因で不利な状況にある子どもに対して社会がどう向き合い、何ができるかということです。しかし、日本ではどうしても家族責任論が根強いことも否定できません。現代社会は、家族を取り巻く地域社会が少子高齢化の影響を受けて、子ども会の解散、学校統廃合が進みます。家族規模は縮小化し、親族にセーフティネット機能を期待することができない状況もあります。こうした中、社会的支援として子どもを中心に置いた問題の早期発見、対応、あるいは予防機能はますます重要となります。

社会的支援を展開するNPO法人をはじめとする民間団体がネットワークを作り、大きな力となって市民活動に発展できるような、広報、啓発活動としても、とても重要なシンポジウムだと言えます。





研修報告「高齢者虐待対応研修」

地域包括ケア推進委員会 委員長 長谷川 佳子

高齢者虐待対応防止法に基づき、市町・地域包括支援センターは第一線で高齢者虐待対応を行っていますが、その対応は困難を極めています。さらに、職員が交代するなかでも緊急の対応を迫られる場面があり不安を感じている現状があります。

今回、専門的視点・技術の習得・実践力の向上を図ることを目的として広島と福山で地域包括支援センター現任者と行政担当部署職員を対象に高齢者虐待対応研修を開催しました。

広島・福山ともに虐待対応に対する考え方は同じですが、帳票が違い、広島編は昨年度に続き、日本社会福祉士会が開発した虐待対応帳票を参考にしながら独自に開発された広島市の帳票を活用、福山編は今年度新たに、福山市の帳票を参考にしながら、地域包括ケア推進委員会が中心となって研修を開催しております。

講義では、弁護士より、虐待対応と個人情報の取り扱いについて、虐待に対する事実確認は、個人情報保護法の例外規定にあたることや、市町村権限の行使として立ち入り調査・やむを得ない事由による措置などの法的根拠と法の解説の話を伺いました。

演習では、地域包括ケア推進委員と専門職チームが講義とファシリテーターを行い、帳票を使うことの意義として①標準化②明確化（何を根拠に判断したか）③共通化④効率化であることを伝えました。

また、事例を用い、「初動期段階」「対応段階」「評価と終結」と時系列に分け各段階での帳票の使い方、プロセスにおける留意点として、「いつ」「だれが」「何を」「どのように」「いつまでに」行動するか、またその根拠はどこにあるのかを細かく確かめながらのグループワークをしました。

時間がハードで凝縮した2日間の研修でしたが、アンケートでは「有意義であった」や「虐待対応担当者は全員が参加すべきでは」など沢山の言葉を頂いておりますので、次年度も開催できればと考えております。



北支部活動報告

～会員の活動を知り、会員同士が知り合える実践報告～

北支部長 藤尾 正彦

10月14日、他支部からの参加もあり、実践報告会（参加者12名）を開催しました。

実践報告をいただいた（社福）庄原市社会福祉協議会・三上 千紘さんからは、地元高校と地域住民活動をつないだサロン交流会、ひきこもり支援など地域福祉活動を中心に報告いただきました。

次に、平岡社会福祉士事務所・平岡 和子さんからは、独立型社会福祉士をめざしたきっかけ、成年後見人（ばあとなあ委員会）活動、更に北支部全体で後見案件を受任できる体制づくりを中心に報告いただきました。



最後に、（社福）東城有栖会・高原 淳尚さんからは、小規模多機能型施設を開設した時の地元住民との協議やお互いに支援したエピソード、保育所の指定管理事業を通じた子育て支援を中心に報告いただきました。

実践報告の後は、話し足りない時間設定でしたが、とてもアットホームな雰囲気に参加者同士の自己紹介や情報交換をしました。



広島県地域生活定着支援センター NEWS

◇対人援助者のためのスキルアップ研修 第1回開催 2017.10.28開催◇

『意思決定と権利擁護～対話から生まれるもの』



竹端 寛さん
山梨学院大学法学部政治
行政学科教授
精神科病院のフィールド
ワークから地域福祉や権
利擁護、福祉現場の人材
教育等、現場に根差した
研究を続けている。

第1回は「支援を考える」をテーマに、竹端 寛さんを招いて「意思決定と権利擁護～対話から生まれるもの」と題した講演会を開催しました。

講演は、ワークも交えて行われ、参加者同士、意見を聞き合うこともできました。

意思決定はひとりでするものではない、いかに共同決定の質を上げていくにかかっている。誰もが“偏り”を持っている。支援者がいかに自覚的になれるか。何がわかっていないと気づけるか。問題を問題と捉えているか…等々。日々の自分自身を振り返り、考えさせられることがたくさんありました。講演は次の問いかけで締めくくられました。「意思決定支援は“思い”や“願い”の実現への支援です。支援者である皆さん、夢を持っていますか？」



鼎談：絶妙なやり取りに会場が湧く 左から、日本社会福祉士会副会長 中島康晴さん、竹端寛さん、河合知義センター長

日本社会福祉弘済会・社会福祉助成事業 《対人援助者のためのスキルアップ研修》

第2回 11/18 映画ライフアズアンスと監督のお話

第3回 12/16 講演Ⅰ 長崎の実践を広島へ
講演Ⅱ 福祉と司法どう手をつなぐか

第4回 1/20 公開講演会「伴走型支援とは
～今後の刑余者支援について」

時間：13：30～16：00 参加費 1,000 円/回

会場：広島弁護士会館（広島市中区上八丁堀 2-73）

*詳しくはチラシ、HP を参照ください。

内容に興味のある方はどなたでもご参加ください。

事務局 New face 紹介



6月末よりお世話になっております。
前職が立ち仕事でしたので、デスクワークに慣れないのですが、何とか頑張っております。
会員の皆様には、お問い合わせ等頂いた際に、笑顔と笑声（えごえ）でご対応させて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 村上 由香



7月からこちらでお世話になってます。
生活サイクルには慣れてきましたが、まだまだ勉強の毎日です。至らない点が多い上に、そっかしいので反省の多い毎日ですが、前向きにやっていきたいと思っています。
よろしくお願いいたします。

定着支援センター 藤田 恵美子



7月に入職しました。
先日、銀行で、担当ケースの方の通帳を発行しました。銀行に相談した当初は、入所中の通帳発行は前例が無いと断られましたが無事に発行することができました。支援は一人ではできないことに身をもって学びました。
色々な方との出会い・ご縁を大切にしながら仕事を頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

定着支援センター 高畑 法恵

会員紹介リレー

西支部 つきもり しんご
月森 慎吾さん



にのみや居宅介護支援事業所 介護支援専門員

～相手の話をしっかり聴く所から信頼関係は生まれる～

- ◆自分を一言でPRをお願いします。
人の意見やアドバイスを否定せず受け止め、多くの方の考えを聞くことが好きです。
- ◆今のお仕事について教えてください。
大学卒業時、社会福祉士を取得し就職しました。介護職、相談員として経験を重ね、地域包括支援センターでは地域のサロン作りに関わりしました。今年 8 月からは介護支援専門員として働いています。
- ◆仕事をする上で心掛けている事を教えてください。
コミュニケーションの取り方には一番気を使います。特に電話の際はお互いに顔が見えない為、口調や声の大きさ、話すスピード等気を付けるようにしています。また、人脈を作る事も大切にしており、研修会等にも積極的に参加するように心掛けています。
- ◆社会福祉士会の活動から学んだり、日々の業務に活かされている事を教えてください。
支援の方向性に迷ったり悩んだ際に、倫理綱領を読み返しています。社会福祉士として何をすべきかを冷静に考える事ができます。昨年は、基礎研修Ⅰへ参加し障害分野、児童分野等他の分野の方々と一緒に勉強させて頂く事で支援の幅が広がった気がします。
- ◆趣味やプライベートについてお聞かせください。
趣味は大学時代から始めたランニングです。今までの趣味の中で1番長続きしています。体力、精神力が鍛えられている感じがして自分には合っていると思います。
- ◆季節毎の自分なりの過ごし方についてお聞かせください。
季節を肌で感じる事が好きで、通勤はバイク、趣味でランニングをしています。

研修・イベント情報



平成29年度 福祉サービス評価調査者養成研修開催のお知らせ

主 催：広島県福祉サービス第三者評価推進委員会

日 時：平成29年11月25日（土） 12月 3日（日）

12月10日（日） 12月16日（土） 【4日間】

※全日程の受講が必要となります。

場 所：広島県社会福祉会館

受講料：全科目受講（1人 30,000円）

その他：広島県社会福祉士会の推薦要。事務局に連絡申込を…。

11月20日（月）必着

独立型社会福祉士実践報告会第9弾 愛媛県での活動を訊いてみよう

日 時：平成30年2月24日（土）13：30～15：30（予定）

会 場：広島市内 ※決まり次第ホームページにアップします

講 師：オフィスゆう 日吉祐一さん

参加費：社会福祉士会会員 3,000円、非会員 4,000円

内 容：知的障害者福祉での経験を活かし、現在は、司法福祉分野等で活動されている日吉祐一さんをお迎えします。この機会に、他県での独立型社会福祉士としての活動を訊いてみませんか…。

申込先：社会福祉士会事務局

広島県東部唯一!!

社会福祉学科 通信課程

募集期間:平成 29 年 10 月 2 日～平成 30 年 3 月 16 日
(募集要項 配布中)

福山でスクーリング 働きながら学ぶ

学校法人穴吹学園

穴吹医療福祉専門学校

福山 穴吹 社会福祉 検索



〒720-0052 広島県福山市東町 2-3-6

TEL : 084-931-3325

amfshfk-info@anabuki.ac.jp

JR 福山駅北口を出て東へ、東 7 番ガード北を左折 50m (徒歩約 8 分)



社会福祉士への道。

特長

- ①第29回社会福祉士国家試験合格率 **50.0%** (全国平均 25.8%)
- ②仕事との両立が可能な受講システム
- ③迅速回答システムを採用
- ④中国4県と愛媛県をエリアとした社会福祉士一般養成施設
- ⑤国家試験受験対策に便利な e ラーニングシステム

毎日学科説明会、実施中。

下記、お問い合わせ先にお申込み下さい。ご希望の日時で、学科説明します(日・祝日、年末年始をのぞく)。

公益社団法人 広島県社会福祉士会への

寄付金について



235,000 円

(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)



皆様方からの温かいご支援を、地域や人々の支援へと繋げています。心より感謝、御礼申し上げます。

※寄付金は所得税などの控除対象となります。詳しくはお近くの税務署が国税庁のホームページをご確認下さい。

また、県民税、市民税についても控除対象となります。こちらの場合は、広島県庁税務課、各市町の市民税課・税務課にお問合せください。



編集後記

「急に寒くなりましたが、僕の身体と心はカーブのおかげで熱気ムンムンです」(藤浴)「今から 100 年後には日本の人口は半数以下に…。本腰を据えて取り組まねば…。」(巴)「計画的にネット通販を利用するようになり、お菓子の無駄遣いがなくなりました。体とオサイフにやさしいです。」(坂本)「平田観光農園に行きました！フルーツは最高の贅沢ですね。マスカット美味しかったです。」(幸本)「今年は 10 月でも寒く、台風は来る、雨降りが多い、稲刈りがなかなか出来ず、でしたが豊作でした。」(山根)「急に寒くなりました。鼻かぜに気を付けましょう。」(酒井)

広島県社会福祉士会

会員数 1000 人突破！

(平成 29 年 10 月 3 日時点)

